

北海道地区

地区開催報告

四国地区

北海道地区の日臨技“8地区 Joint FORUM”の取り組みは、(社)北海道臨床衛生検査技師会が担当し12月2日(日)に「よみうりビジョン」が設置されている4丁目プラザの前とその一円で

おこなった。夏場はたくさんの人通りがあり賑わう場所だが、この時期は最高気温も2、3度台で、大部分が地下街に潜ってしまう。それでも、まだ日がさしていたせいか用意したエイズ撲滅キャンペーン用のチラシや北海道として用意したポケットティッシュは1時間ほどで配布を終えることができた。市民の関心度はいま少しという印象であったが取り組みの必要性は大いに感じた。



札幌の商業地域は、キャンペーンを張った4丁目十字街付近がメインであったが、札幌駅ビルが新装され、さらには本州大手デパートが進出したことにより、現在、若者達は札幌駅付近に集中する傾向になっている。札幌駅地下街にも契約の大型スクリーンのビジョンがあるので、札幌駅付近でのチラシの配布を考えたが、地下街でのチラシ等の配布が出来ないこと、ビジョンでの映像の提供とその場所でのチラシ配布の有効性を考慮し、前述の場所になった。

映像回数が1時間に2回ほどと想像していたより少なく、チラシ配布時に「映像を見てください」という声がかけても出来ないのが現状であった。また、寒い時期に普通の防寒着で「検査技師会です、エイズ撲滅にご協力ください」という姿にもインパクトがなかった。それと北海道技師会として、事業の関係で12月1日の世界エイズデーに合わせてキャンペーンを行うことが出来なかったことも反省点である。

今後このような大型広告スクリーンを活用したキャンペーンを企画するのであれば、期間ではなく、チラシ配布時に合わせて集中的に映像が配信されるよう望むものである。

【小林克己】

8地区 joint FORUM「エイズ予防啓発活動」は、日臨技製作映像を放映する街頭ビジョンの関係により四国地区では松山市のみでの開催となった。

当日(12月2日11時~15時)は愛媛県臨床検査技師会 渉外部(佐々木吉寛部長)のメンバーを中心に総勢15名で松山市の繁華街である大街道、銀天街商店街路上にてキャンペーンを行い、特に若い年齢層の皆さんにSTIの予防により注意の啓発を行いたいと考えたが、エイズ・STI予防啓発チラシやパンフレットの手渡しだけでは街行く人に受け取ってもらえない場合も多いと思われたので、女性には「リップクリーム」、カップル、子供さんには「チュッパチャプス(キャンディ)」、一般の方には「日臨技カットバン」を一緒に手渡した。街頭での白衣姿はかなり目立ったが、最初は「エステの勧誘」と勘違いされ苦笑する場面もあった。

また、この日は行政(愛媛県、松山市)保健所での即日HIV抗体検査のキャンペーンも行われていたので、その検査案内チラシも一緒に配り、臨床検査技師がこの検査を行っている旨のお話もすることが出来た。



今後も、今回のような日本全国で臨床検査技師が統一した宣街活動をする事は、我々の仕事を社会にアピールでき技師の業務や地位確保に非常に重要な要素になると改めて考えさせられた。

最後に、少し反則技ではあったが当日参加した会員の小学生(2名5歳)にも配布のお手伝いをしていただき、子供さんのかわいい手から差し出されたビラは皆さん笑顔で受け取って下さり配布の大きな力となった事も報告致します。また、今回お世話になった四国地区・愛媛県臨床検査技師会の関係者各位に併せて御礼申し上げます。

【土居修】



キャンペーンの様相<東京新橋>は、当日(12月1日)午後6時55分の毎日テレビニュース<BS11 デジタル>で放映された